

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(1/9)

2026年4月3日  
 日本原子力発電株式会社

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所		
37	241119-13	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の不具合事象)	36	2024/11/19	地盤改良による周辺施設・設備への影響評価の結果について示すこと。	-	-	
41	250220-2	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	25	2025/2/20	セメント系、薬注系の地盤改良に対する室内配合試験の結果から妥当性を説明すること。	-	-	
65	250228-24	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	84	2025/2/28	地盤改良(薬液注入)のシリカ含有率の設定方法について、設工認の中で具体的に説明すること。(STEP4で)	-	-	
68	250228-27	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	65	2025/2/28	鋼管杭を打設する際のネガティブフリクション対策、および設計上の支持力の考慮について補足説明資料に反映すること。	-	-	
69	250228-28	別途回答		83	2025/2/28	粘性土の中にレンズ状に共生している砂質土層に対し、地盤改良がもれなく施工される理由について補足説明資料に示すこと。	-	-	
71	250228-30	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	70	2025/2/28	今回の流動化処理土は、廃材ではなく品質管理がしっかりされた製品を購入する計画でよいか。また、配合試験に基づく仕様を補足説明資料に明記すること。	-	-	
90	250722-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	9	2025/7/22	地盤改良の品質確認方法について、準拠する基準を明確にするとともに、準拠基準にしたがった試験位置、試験数量、品質確認方法等で、品質が確保できることを説明すること。	-	-	
91	250722-2	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	9	2025/7/22	北基礎の中実鉄筋コンクリートについて、根入れの考え方(準拠基準等)を整理すること。(10/14追加確認事項)水平支持力について、別途説明すること。	-	-	
96	250722-7	回答済	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	11	2025/7/22	巻立コンクリートについて、杭間の縁切り材(10mm)の仕様を示した上で、仮想ケーソンとして考慮できるとした考え方及び杭間ばねの考え方を説明すること。	2025/10/14 (2025/8/26)	目地材の幅が10mmと極めて小さいこと、巻立て鉄筋コンクリートは直上の頂版鉄筋コンクリートにより拘束されており、杭間の変形は極めて小さいと考えられること等から、杭間要素の影響は顕著でなく、現状のモデル化は妥当である旨記載した。	資料2:P19 (10/14)補足説明資料に仮想ケーソンの扱いを詳細に記載すること。
98	250722-9	回答済		19	2025/7/22	一次元地盤応答解析を用いて算定する津波+余震重畳時の荷重及び変位について、解析モデル、算定方法等を補足説明資料に記載して説明すること。また、上部工の余震時荷重(慣性力、動水圧)について、一次元地盤応答解析の地表面の加速度を用いて算定していることを追記して説明すること。	2025/10/14 (2025/8/26)	余震による一次元地盤応答解析の土中モデルと解析結果で得られた地表面応答加速度、地盤剛性及び強度、地盤変位に基づき、三次元フレーム解析における設計震度、地盤バネ係数及び上限値、応答変位を設定する旨を明記した。	資料2:P24, P34~P36 (10/14)補足説明資料に時刻の選定の考え方を記載すること。
104	250722-15	回答済		30	2025/7/22	「有効応力の変化に伴う構造物の周辺摩擦力の変化は、有効応力の関数である地盤の剛性及び強度の変化によって自動的に考慮される」とした記載について、構造物の具体的な施設及び周辺摩擦力の具体的な内容を明確にした上で、記載を平易な表現に見直すこと。	2025/10/14 (2025/8/26)	せん断方向の応力上限値は、ジョイント要素の面直応力(有効応力)と原地盤の強度特性により、解析上自動的に決定すると平易な表現に見直した。	資料2:P40, P43 (10/14)補足説明資料では記載を充実化すること。
113	250805-6	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	113	2025/8/5	断面力図のT.P.-50m付近に大きな曲げモーメント等が発生している要因を確認して説明すること。	-	-	
114	250805-7	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	18	2025/8/5	耐震モデルと耐津波モデルのモデル間の整合性について説明すること(荷重条件を合わせた場合、同様の挙動を示すこと等)。	-	-	
121	250805-14	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	全般	2025/8/5	断面検定における釣合鉄筋比に関する確認結果、ヤング係数比の考え方を適用基準等を用いて説明すること。(10/14追加確認事項)N=15を採用している経緯を説明すること。	-	-	
138	250807-8	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	25	2025/8/7	FLIPについて、重ね合わせ要素の適用が既工認と異なるため、適用性を先行実績も踏まえて資料化して説明すること。	-	-	
141	250807-11	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	-	2025/8/7	巻き立てコンクリートと鋼管杭の一体化の確保について、構造を示したうえで考え方を補足説明資料に記載すること。	-	-	
146	250826-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	21	2025/8/26	本震後の地盤の剛性低下を耐津波設計時の地盤バネ2に考慮しているが、本震基準地震動S <sub>1</sub> による収束剛性値と静弾性係数による剛性の関係を確認しておくこと。	-	-	

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(2/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所		
151	250826-6	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	46	2025/8/26	「鉄筋の腐食」について補足情報を追加すること(資料2に追加)。	-		
154	250826-9	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	36	2025/8/26	中実RCの17段筋や頂版RCのSD685の定着についてSTEP4にて詳細を説明すること。	-		
161	250909-4	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	SD685の配筋についてコンクリートの表面との距離が小さく、水平方向のコーン破壊的なことが発生しないか確認すること。	-		
162	250909-5	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	杭頭結合部の評価として、一般的な照査項目についても照査すること。	-		
165	250909-8	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	39	2025/9/9	補足説明資料に記載する耐震設計の解析モデルについては、本図に加えて前回資料のような詳細なモデル化の資料を掲載すること。	-		
169	250909-12	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	73	2025/9/9	単杭とケーソン基礎の算定式を追記すること。	-		
172	251014-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	19	2025/10/14	(コメント98関連) 耐津波設計において、上部工の慣性力を一次元地盤応答解析の地表面加速度から設定している点について、補足説明すること。	-		
192	251105-4	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	11	2025/11/5	SD685鉄筋の引き抜き試験の内容や結果について、今後説明すること。	-		
196	251105-8	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	16	2025/11/5	頂版鉄筋コンクリートで用いるSD685鉄筋のひずみについては、地震の主方向と津波の方向が方向に揃ったケースの結果についても今後説明すること。	-		
268	260126-2	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5回申請 補足説明資料29(防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 1/2/22提出版	4	2026/1/26	「b. 設備の強度評価」の津波荷重に対する評価の必要性についてわかりやすく記載すること。	-		
291	260206-9	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5回申請 補足説明資料29(防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 1/2/26提出版	50	2026/2/6	「表5.4-4 構造物の変形性に対する評価結果比較」において、z方向の変位量が増えた理由を考察すること。	-		
311	260213-14	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5回申請 補足説明資料27(防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明) 1/21提出版	120	2026/2/13	表「地盤改良(薬液注入)の適用性、改良品質の不確かさの要因の抽出結果(その1)」の一次評価の結果において検討不要と表示しているグレーハッチング箇所については、何を根拠として検討不要と判断しているのか、記載を充実すること。	-		
314	260213-17	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5回申請 補足説明資料27(防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明) 1/21提出版	124	2026/2/13	地盤(粒度等)に係る浸透注入工法の適用条件の記載について、適用条件と不適用条件が混在しているため、書き分けて説明すること。	2026/3/19 (別途説明中)	「適用可能な条件」の表現に統一して記載した。	3-147
315	260213-18	今回回答		126	2026/2/13	結束細管多点注入工法であれば、改良対象土層の性質に対して問題ないと判断している点について補足説明すること(例:どのような地層だから必要注入圧からこの工法を採用など)。	2026/3/19 (別途説明中)	工法(結束細管多点注入方式)が適用可能な条件及び対策について示し、施工範囲に分布する地層に対して適用に問題がないことを記載した。	3-150
316	260213-19	今回回答		138	2026/2/13	液状化強度比Ri20の20回という指標はいろんな規格基準で見える値ではあるが、妥当性について解説すること。	2026/3/19 (別途説明中)	液状化強度比算出における繰返し載荷回数20回は、昭和55年制定の道路橋示方書に初めて記載され、同書には載荷回数を20回とした根拠は示されていないことを記載した。	3-180
317	260213-20	今回回答		139	2026/2/13	地盤改良(薬液注入)における配合設計の最大せん断応力比から薬液濃度の仕様を決定するプロセスについて、誰にでも分かるように概念図を作成すること(有効応力解析結果から最大せん断応力比の抽出→原地盤の液状化強度比の確認→不足分の液状化強度比を補うための薬液注入仕様の決定)。	2026/3/19 (別途説明中)	地盤改良(薬液注入)の薬液濃度の仕様を決定するプロセスについて、配合設計フローやイメージ図をあわせてわかりやすく記載した。	3-164, 166

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(3/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
318	260220-1	今回回答	3	2026/2/20	図1.1-2 防潮堤(鋼製防護壁)構造図は、鋼製防護壁基礎の構造変更前の既工認の構造図であることがわかるように明記すること。	2026/3/19 (別途説明中)	図のタイトルに、既工認の構造図であることがわかるよう記載した。	1-4, 22
319	260220-2	今回回答	全体	2026/2/20	不具合の状況については、なるべく写真を掲載するよう検討すること。	2026/3/19 (別途説明中)	不具合の状況について、状況がイメージできるよう写真を追加した。	1-9, 1-11, 1-17, 1-19
320	260220-3	今回回答	5, 10	2026/2/20	地中連続壁で観察された「スライム・安定液を巻き込んだコンクリート」とはどのようなものか、補修の要否等について補足での記載を検討すること。	2026/3/19 (別途説明中)	「スライム・安定液を巻き込んだコンクリート」に関する記載を注釈で追記した。補修の要否については、コンクリート標準示方書(2012)に基づき、スライム・安定液を巻き込んだコンクリートの補修の対象となるものではない旨を記載した。	1-6
321	260220-4	今回回答	29	2026/2/20	施工機械の荷重やコンクリート打設圧といった通常の施工条件に相当するものがはらみ出しを発生させた原因となることについて記載を拡充すること。	2026/3/19 (別途説明中)	施工時の荷重の影響(地中連続壁部の構築ステップにおける施工機械やコンクリート打設の荷重が繰返し中実部の地盤に作用し、内部圧力として残留及び蓄積する状態等)、安定液と地下水位の水位差などにより、溝壁の土圧の均衡が崩れ、溝壁(粘性土)がはらみ出し、その一部が崩落しコンクリート流路を阻害してコンクリート未充填が発生したことを記載した。	1-32
322	260220-5	今回回答	44	2026/2/20	「鉄筋等の変形」の表記について適正化すること(p12の※1も同様に適正化)。	2026/3/19 (別途説明中)	「鉄筋等の変形」を「鉄筋の変形等」の混在記載については、「鉄筋等」を改め「鉄筋」には組立用の鋼材を含むものとして記載を統一した。なお、1-2に変形等の「等」について内容を記載している。	1-2, 1-5
323	260220-6	今回回答	2, 3	2026/2/20	地中連続壁部の再設置において、課題としている近接する既設構造物への影響及び長期にわたる大深度掘削工事について詳細に記載すること。特に近接する既設構造物への影響についてはわかりやすい図を入れるなど検討すること。	2026/3/19 (別途説明中)	鋼製防護壁基礎の施工範囲と近接する既設構造物との位置関係がわかるイメージ図を追加し、既設構造物への影響回避を含め施工が困難である旨の記載を拡充した。	2-4
324	260220-7	今回回答	53-55	2026/2/20	既設構造物下の地盤改良(薬液注入)について、支障物の回避方法を具体的に文章で明記し、施工可能であることを説明すること。	2026/3/19 (別途説明中)	既設構造物下の地盤改良は、計画範囲に地盤改良の注入管がボーリングで到達できるよう、立て坑設置などにより施工する旨を記載した。	3-68, 3-71
325	260220-8	今回回答	全体	2026/2/20	4章は施工設計段階で品質向上を行った施工部位について、既工認からの変更箇所を記載したものであるが、鋼製防護壁基礎の構造変更との整合性も踏まえてその位置づけを明確にすること。	2026/3/19 (別途説明中)	参考資料「(5) 品質向上を目的とした設計変更(既工認設計からの変更)」として記載した。	3-239~3-247
326	260220-9	別途回答	7	2026/2/20	中詰鉄筋コンクリートは鋼製防護壁のどの高さまで設置されているのか、またその設定根拠について説明すること。	-	-	-
327	260220-10	別途回答	11	2026/2/20	図2.2-10の鋼製防護壁と鋼製防護壁基礎の接合部の概念図について、頂版鉄筋コンクリートを透過表示させるなどして図を修正すること。	-	-	-
328	260220-11	別途回答	18	2026/2/20	根巻き鉄筋コンクリートが他部位と結合した構造なのか構造上の詳細を示すこと。また、解析評価においてその重量等が考慮されているか等説明すること。	-	-	-
329	260220-12	別途回答	68	2026/2/20	耐震設計のうち2次元有効応力解析モデルにおける柔梁を設定している理由や断面諸元について説明すること。	-	-	-
330	260220-13	別途回答	82, 83	2026/2/20	耐震設計のうち2次元有効応力解析モデルにおける鋼製防護壁の梁要素の断面諸元について説明すること(断面形状が変わる鋼殺をどのように一本棒でモデル化しているか、その物性はどのように設定されているか、屈曲部の高さの根拠等)。	-	-	-
331	260220-14	別途回答	87	2026/2/20	耐震設計のうち3次元動的フレーム解析モデルにおける鋼製防護壁の格子状の梁要素の断面諸元について、耐津波設計のモデルもあわせて説明すること。	-	-	-
332	260220-15	別途回答	全体	2026/2/20	補足説明資料の章立てが深いため、別途、章立てリストを作成すること。	-	-	-

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(4/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
333	260227-1	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28 (防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	3	2026/2/27	「鋼管杭頭部は巻立て鉄筋コンクリートとスタットにより一体化」は、「鋼管杭頭部は巻立て鉄筋コンクリートと鋼管杭とをスタットにより一体化」に適正化すること。	—	—
334	260227-2		6	2026/2/27	図2.2-4の構造図で、鋼管杭の中心線により図がわかりずらくなっているため、中心線の表示は削除するなどして適正化すること。	—	—
335	260227-3		9	2026/2/27	地表面レベルがわかるよう地盤のマークなどで図中に表示すること。	—	—
336	260227-4		10	2026/2/27	アンカーボルトが鋼製防護壁のプレートにボルトで取り付けられ一体化している構造であることを記載すること(4章などの関連箇所に記載してもよい)。	—	—
337	260227-5		15	2026/2/27	鳥籠図については概ね正確に適正化すること(頂版鉄筋コンクリートの幅等)。	—	—
338	260227-6		—	2026/2/27	アンカーボルトを設置するベースプレートも構造物の一部であることから健全性について確認すること。	—	—
339	260227-7		17	2026/2/27	図2.2-17を大きく表示すること。	—	—
340	260227-8		18	2026/2/27	耐震評価で鋼製防護壁は水平2方向を考慮する旨の記載があるが、女川では鋼管杭基礎の端部でも水平2方向の評価を行っているため、他プラントの整合性の観点で評価を行うこと。なお、断面力を1:1で簡易に評価してもよい。	—	—
341	260227-9		19	2026/2/27	表2.3-1の要求性能と設計評価方針で、基本設計方針列に上部工だけでなく下部工の記載もおこなうこと。また、性能目標の列の「主要な構造部材」という表現は適正化すること。	—	—
342	260227-10		23	2026/2/27	図2.3-2鋼製防護壁の詳細設計フローで、「鋼製防護壁基礎の設計」を適正化すること。	—	—
343	260227-11	34	2026/2/27	アンカーボルトの材料が“SM520B相当”となっているが経緯を説明すること。	—	—	
344	260227-12	59	2026/2/27	“検討ケース”について、どのような内容なのか追記すること(参考での記載でも可)。	—	—	
345	260227-13	68	2026/2/27	解析モデルに対する説明書きは、過去の審査会合資料と同等にすること。	—	—	
346	260227-14	87	2026/2/27	図4.9-29鋼製防護壁の解析モデルに、x, y, z方向の表示を追記すること。また支承条件を記載すること。	—	—	
347	260227-15	90	2026/2/27	巻き立て鉄筋コンクリートの複合断面の照査で用いている解析プログラム名を追記すること。また、鋼管杭と鉄筋コンクリートの複合断面への適用性についても、他サイトを参考にしてV&V資料への反映を検討すること。	—	—	
348	260227-16	91	2026/2/27	補剛材がどこに設置されているかおおまかに記載すること。	—	—	
349	260227-17	94	2026/2/27	接合部に作用する力に対して、水平鉄筋や鉛直鉄筋がどのように抵抗するのか、評価プログラムや評価法について説明すること。	—	—	
350	260227-18	14	2026/2/27	図2.2-16接合部構造図(F-F断面)においては、“根巻き鉄筋コンクリート”の表示が正しいのか確認し適正化すること。	—	—	
351	260227-19	81, 82	2026/2/27	2次元有効応力解析モデル図の鋼製防護壁の縦梁がどのような設定条件になっているか、特に鋼製防護壁の断面形状の変化をどのようにモデル化に反映しているか説明すること。	—	—	
352	260227-20	87, 88	2026/2/27	3次元フレーム解析の鋼製防護壁のモデル化において、どのような断面性能を設定しているか、また、抽出した発生断面力を照査時にどのような処理を行っているか説明すること(部材剛性で割り戻して照査なのか)。	—	—	
353	260227-21	95	2026/2/27	アンカーボルトの照査においては、水平2方向の断面力が考慮されていることを記載すること。	—	—	
354	260227-22	237	2026/2/27	断面力が最も厳しい時刻の断面力図を記載していることについて説明書きで追記すること。	—	—	
355	260227-23	全体	2026/2/27	地震動と検討ケースの組合せによる照査値表については、何を根拠に地震動を選定し横串を通して評価したのか、わかるように記載すること。	—	—	

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(5/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
356	260306-1	別途回答	7, 88, 518, 527	2026/3/6	鋼製防護壁においては、水平隔壁、鉛直隔壁、内部隔壁、外面鋼板の4つの名称で記載されているが、その構造や場所をわかりやすく明示すること。また、鋼製防護壁の主部材の評価においては、この4つに対して評価結果を記載すること。	-	-
357	260306-2	別途回答	14, 15, 94	2026/3/6	既工認との整合・説明の充実の観点で、接合部の役割・構造について、既工認にならった説明を充実させること(拡大図、干渉確認、正しい断面表現など)。	-	-
358	260306-3	別途回答	26	2026/3/6	「SHBS700(W)」→「SBHS700(W)」の記載の適正化すること(2章側も適正化)。	-	-
359	260306-4	別途回答	87, 211	2026/3/6	鋼製防護壁の評価において、水平震度を考慮する考え方を記載すること。また、面ページの繋がりがわかるようすること。	-	-
360	260306-5	別途回答	114	2026/3/6	ひずみのスケール図が重複しているため削除すること。	-	-
361	260306-6	別途回答	114	2026/3/6	ひずみ分布図について、既工認では大きなひずみが見られていたが、構造変更後に見られなくなった理由を説明すること。	-	-
362	260306-7	別途回答	152	2026/3/6	過剰間隙水圧比が0.95以上となる範囲が既工認では見られたが、構造変更後に見られなくなった理由を説明すること。	-	-
363	260306-8	別途回答	192	2026/3/6	護岸の加速度分布について、既工認と比較して様相が異なる理由について説明すること。	-	-
364	260306-9	別途回答	211	2026/3/6	鋼製防護壁の耐震評価モデルに入力する設計水平震度はどのように算定したものか、また、鋼製防護壁の耐震評価モデルで得られる震度が、入力する設計水平震度と比較して考察すること。	-	-
365	260306-10	別途回答	217	2026/3/6	評価結果総括表枠外の不要な単位記載を削除すること。	-	-
366	260306-11	別途回答	287	2026/3/6	照査値表で、選定した地震動に対して横串を通した根拠(地盤のぼらつきケースを実施した根拠)及び、追加検討ケースのルールを明確にすること。	-	-
367	260306-12	別途回答	320, 322, 428	2026/3/6	地震動(Ss-11~Ss-22)の記載漏れを修正すること。	-	-
368	260306-13	別途回答	368	2026/3/6	巻き立て鉄筋コンクリートの構造図で、せん断補強鉄筋がどれか、せん断補強鉄筋の規定上のルールに基づいているか説明すること。	-	-
369	260306-14	別途回答	393, 423	2026/3/6	杭頭接合部の評価において、仮想RC断面の定義や断面図等を用いた照査方法、評価プロセスを記載すること。	-	-
370	260306-15	別途回答	424	2026/3/6	頂版鉄筋コンクリートの評価において、剛域やモーメント分布イメージ、照査範囲等、審査会合で示したような図面もあわせて記載すること。	-	-
371	260306-16	別途回答	439	2026/3/6	頂版鉄筋コンクリートの軸力図で、中実鉄筋コンクリート範囲の外に大きな軸力が発生している理由について説明すること。	-	-
372	260306-17	別途回答	513	2026/3/6	鋼製防護壁の板厚構成図について、鋼板の板厚や材質の表示を凡例を用いるなどして見やすくすること。	-	-
373	260306-18	別途回答	526	2026/3/6	中詰め鉄筋コンクリートと鋼殻の一体化のためのスタッド評価においては、評価プロセスを記載すること。また、各回転モーメントや面内外せん断力に対する必要スタッド量の算定法について説明すること。	-	-
374	260306-19	別途回答	526	2026/3/6	中詰め鉄筋コンクリート内の面内外のせん断力については、どの解析モデルからの入力であるか明確化すること。	-	-
375	260306-20	別途回答	527	2026/3/6	補剛材の評価式について、道路橋示方書を参照しなくてもわかるよう図を用いてわかりやすく記載すること。	-	-
376	260306-21	別途回答	528	2026/3/6	補剛材の構造について、横リブ、縦リブの構造を明確にし、その位置関係や照査対象を記載すること。また、リブの厚さも記載すること。	-	-
377	260306-22	別途回答	532	2026/3/6	添接板の厚さやボルトの仕様について説明すること。	-	-
378	260306-23	別途回答	535, 536	2026/3/6	アンカーボルトの断面力が、アンカーボルトの配置図とあわせて発生応力に対して抵抗するのを示すこと。	-	-
379	260306-24	別途回答	540	2026/3/6	鋼管杭の支持性能評価において、杭が押し込まれる側・引き込まれる側など当該図面だけ見てもわかるよう示すこと。またプラントノースも示すこと。	-	-
380	260306-25	別途回答	542, 543	2026/3/6	中詰め鉄筋コンクリートの評価において、水平せん断力・回転モーメントに対して、どの鉄筋がどのように抵抗するか概念図で説明すること。	-	-
381	260306-26	別途回答	569	2026/3/6	鋼管杭の支持性能評価においては、引き抜き力に対しても照査結果を記載すること。	-	-
382	260306-27	別途回答	574-585	2026/3/6	地盤改良(セメント系)の内的安定評価において、局所安全係数分布図は最小値の表示と位置も示すこと。また地盤改良体の範囲も明示すること。	-	-

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(6/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
383	260306-28	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28 (防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	586	2026/3/6	異種構造物間の地震時相対変位量について、その算定方法の図化(x, y, zの座標系も含め)、算定方法(最大値の算定)を記載すること。また、5章には止水対策としての底部止水機構の記載があることを追記すること。	—
384	260306-29	別途回答	資料全般	2026/3/6	配置図・位置図において、方位を明示すること。	—	—
385	260313-1	別途回答		526	2026/3/13	中詰め鉄筋コンクリートと鋼鉄の一体化のためのスタッド評価において用いているせん断力や回転モーメント全てに対して設計上考慮しているのか、ねじりに係る力のみを考慮しているのか、プロセスを記載すること。	—
386	260313-2	別途回答		608	2026/3/13	(参考2)の鋼製防護壁基礎間に生じる地震時相対変位の影響については、実施プロセスや内容がわかりにくいいため、概念図やフローを用いてわかりやすくすること。	—
387	260313-3	別途回答		608	2026/3/13	南基礎を対象に評価している理由を記載し、「天端間」は「南北基礎の天端間」と記載するなどわかりやすくすること。また、鋼管杭などの他部材を評価に取り入れていない理由を記載すること。	—
388	260313-4	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28 (防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	617	2026/3/13	鋼製防護壁基礎天端間の相対変位増分を8.1cmとしているが、図12では南基礎天端の変形量0.2cm、北基礎天端の変形量8.1cmと記載があるため、相対変位量について確認すること。	—
389	260313-5	別途回答		626-628	2026/3/13	照査結果表の白の範囲と桃色着色範囲の数値の根拠について、わかりやすく記載すること。	—
390	260313-6	別途回答		589	2026/3/13	減衰定数の設定については、(参考1)だけ見てもその目的や評価内容がわかるよう、前段の84pの減衰定数の設定法に記載のある内容も追記すること。	—
391	260313-7	別途回答		630	2026/3/13	SD685鉄筋使用範囲のひずみ評価結果については、補足説明資料28の4章防潮堤(鋼製防護壁)の接合アンカーに関する補足説明ではなく、当該(参考3)への記載を検討すること。	—
392	260313-8	別途回答		632	2026/3/13	付着強度でSD590以下の記載が正しいか、確認して適正化すること。	—
393	260313-9	別途回答		641	2026/3/13	鉄筋定着長の実証実験の目的について明確に記載すること(基本定着長、低減定着長、補正係数などを踏まえて)。	—
394	260313-10	別途回答		646	2026/3/13	鉄筋定着長の実証実験において、最上段の鉄筋に着目した実証実験という記載が正しいか確認すること(供試体の中央の鉄筋配置との関係)。また、せん断補強鉄筋を考慮している理由を記載すること。	—
395	260313-11	別途回答		648-649	2026/3/13	抜けだし変位という用語をわかりやすくすること。	—
396	260313-12	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28 (防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	651	2026/3/13	オーバーラップモデルについては、FLIPでも適用性があるかという点で、参考文献を選定すること(FLIPマニュアルや他サイトも踏まえ)。	—
397	260313-13	別途回答		655	2026/3/13	北基礎の中実鉄筋コンクリートの根入れについては、中実鉄筋コンクリートの4隅の根入れ長を三次元的な地質断面図をもとに記載すること。	—
398	260313-14	別途回答		660	2026/3/13	スタッドに生じる「ずれせん断応力度」の算定手法や評価手法について、参照している指針類を含めてわかりやすく記載すること。	—
399	260317-1	別途回答		1-2	2026/3/17	「1.1はじめに」の冒頭の記載について、主語を明確にして文章を適正化すること。また、実施の目的として他プラントの事例(セメント改良土の残地が杭基礎構造物の杭頭部にあったことで、地震時に杭頭部が損傷した事例)も考慮して確認することを追加すること。概念図もあるとわかりやすい。	—
400	260317-2	別途回答		1-1	2026/3/17	「1. 概要」の位置を適正化すること。	—
401	260317-3	別途回答		1-2	2026/3/17	防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更後に地盤改良体の追加が必要になった理由を記載すること。	—
402	260317-4	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29 (防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 2/20提出版	1-6 1-7	2026/3/17	津波評価のうち、特に余震荷重に対する影響検討の要否について、わかりやすく記載すること。	—
403	260317-5	別途回答		1-7	2026/3/17	「f.設備の強度評価」の記載文中に「単純梁に津波及び余震荷重を載荷して評価」とあるが「単純梁」を適正化すること。概念図を加えてもよい。	—
404	260317-6	別途回答		1-11	2026/3/17	影響検討施設に対して追加地盤改良体が概ね対称に配置される場合、地盤ケース①を選定する理由について改めて説明すること。	—
405	260317-7	別途回答		全体	2026/3/17	「推定最大値」という記載は印象的に不適当であるため、「影響評価の最大値」などに適正化すること。	—
406	260317-8	別途回答		全体	2026/3/17	「評価基準値」という記載は他の資料とあわせて「許容限界」などに適正化すること。	—

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(7/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
407	260317-9	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29 (防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明)	1-14	2026/3/17	選定フローの地震動枠の記載にある「選定根拠」の内容を適正化すること。必要に応じて削除することも含めて検討すること。	—	—
408	260317-10	別途回答		2-9	2026/3/17	選定フローの字が小さすぎるため適正化すること。	—	—
409	260317-11	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29 (防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 2/20提出版	参考2-1 参考2-5 参考2-14	2026/3/17	施設評価における既工認時のケース選定手順と、取水構造物の影響検討の選定ケース表が整合していないと思われるため理由を記載すること。また、防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の曲げ軸力照査表で、横串を通して地震波が2つあることについて理由を記載すること(手順と整合しないケース全般)。	2026/3/25 (別途説明中)	基本ルールと異なる箇所については、その理由を追記した。 p参考1-9
410	260317-12	今回回答		参考2-1	2026/3/17	施設及び設備評価における既工認時のケース選定手順の照査値表に最大照査値箇所を明示するなどして、わかりやすくすること。	2026/3/25 (別途説明中)	最大照査値箇所がわかるよう記号で表示するとともに、解説文を追記した(参考2に記載していたが、内容が既工認の説明であるため参考1に記載場所を変えた)。 p参考1-9 p参考1-11
411	260317-13	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29 (防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 2/20提出版	参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向断面の照査で今回Ss-31(+,+)を選定しているが、その選定理由が上段文章から明確に読み取れないため記載を適正化すること。また、下段の照査値一覧表についても誤解を与えないよう併せて記載を適正化すること。	—	—
412	260317-14	別途回答		参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向の断面で抽出したひずみを管軸方向断面で用いて照査を行っているが、当該照査の考え方や準拠規準について記載すること。	—	—
413	260317-15	別途回答		参考4-4	2026/3/17	(以下「推定最大値」という)という記載を適正化すること。	—	—
411	260317-13	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29 (防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明) 2/20提出版	参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向断面の照査で今回Ss-31(+,+)を選定しているが、その選定理由が上段文章から明確に読み取れないため記載を適正化すること。また、下段の照査値一覧表についても誤解を与えないよう併せて記載を適正化すること。	—	—
412	260317-14	別途回答		参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向の断面で抽出したひずみを管軸方向断面で用いて照査を行っているが、当該照査の考え方や準拠規準について記載すること。	—	—
413	260317-15	別途回答		参考4-4	2026/3/17	(以下「推定最大値」という)という記載を適正化すること。	—	—
414	260327-1	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27 (防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明) 3/19提出版	3-174 3-176	2026/3/27	配合試験で実施した液状化強度試験の供試体を粒度調整を実施した理由を補足説明資料に記載すること。また、粒径加積曲線の赤線と粒径加積曲線の黒線との関係を説明すること。また、粒度調整後の試験供試体が保守的な設定になっているのか説明すること。	—	—
415	260327-2	別途回答		3-228	2026/3/27	添付資料VI-1-5-1の引用番号の間違いを適正化すること。また、添付資料から引用している表3-5検査項目、検査概要及び判定基準の考え方について(代表例)を補足説明資料にも転記すること。	—	—
416	260327-3	別途回答		3-229	2026/3/27	下から6行目 ※→* に適正化すること。	—	—
417	260327-4	別途回答		3-229	2026/3/27	下から8列目の「壁面整形工の吹付け後の形状」の内容とその理由を記載すること。	—	—
418	260327-5	別途回答		3-230	2026/3/27	表3.6-55の下から4及び6行目の文字が中央揃えになっているため適正化すること。	—	—
419	260327-6	別途回答		3-233	2026/3/27	表3.6-58で地盤改良の全体検査とは何を立ち会うのか、具体的に記載すること。	—	—
420	260327-7	今回回答		44	2026/3/27	地盤改良(薬液注入)での要求品質(液状化強度比)の根拠がわからないため、「46pを参照」など引用先を追記すること。	2026/4/1	当該頁の前に要求品質(液状化強度比)を設定した頁を移動させた。後段で要求品質を掲示する頁には当該頁の参照を加筆した。 P44, P45, P48
421	260327-8	今回回答		44	2026/3/27	配合試験であわせて実施した液状化強度試験の代表性・網羅性について記載すること。	2026/4/1	物性①のリスク事象の確認結果にて、配合試験で使用した試料(供試体の仕様)の代表性及びその結果が保守的になることを記載した。 P34
422	260327-9	今回回答		45	2026/3/27	上表の地盤改良(セメント系)の性能目標欄の記載を、薬液注入の記載とトーンをあわせること。	2026/4/1	地盤改良(セメント系)の性能目標の記載を薬液注入の記載を考慮し、修正した。 P47, P49
423	260327-10	今回回答	東海第二発電所設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更) 3/19提出版	47, 49	2026/3/27	地盤改良(薬液注入とセメント系)に係る検査項目・確認時期及び頻度・方法等の表で、既工認で示す内容と使用前事業者検査で示す内容が資料上わかりづらいので適正化すること。	2026/4/1	当該頁の記載で重複する内容を削除し、体裁を見直した。 P47~P49
424	260327-11	今回回答		47	2026/3/27	地盤改良(薬液注入)に係る検査項目・確認時期及び頻度・方法等の表で、シリカ含有量増分量の確認頻度の記載をわかりやすく適正化すること(特に3深度がわかりづらい)。	2026/4/1	実施箇所数をボーリング孔数に、深度を箇所(各孔での試料採取箇所)として記載を見直した。 P48
425	260327-12	今回回答		48, 49	2026/3/27	地盤改良(セメント系)の改良範囲に係る検査項目で、測量等で位置・寸法を確認する内容について、両工法の記載で内容の相違がわかるよう適正化すること。	2026/4/1	地盤改良(セメント系:掘削・置換工法)の説明のみとした。(地盤改良(セメント系:高圧噴射攪拌工法)については、既認可の工事範囲のため、本資料から除外した。) P49

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(8/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
426	260330-1	今回回答	4	2026/3/30	1つ目の矢羽根で、これが当初計画であることがわかるよう記載を適正化すること。	2026/4/1	1つ目の矢羽根の記載に「既工認」であることを追記した。	P4
427	260330-2	今回回答	5	2026/3/30	2つ目の矢羽根で「・・構造とすることとした。」を前の文章とあわせて適正化すること。	2026/4/1	2つ目の矢羽根の記載の語尾を「構造とした」に修正した。	P5
428	260330-3	今回回答	10	2026/3/30	「目視できない」という記載について、目視するから問題ないという論理展開ではなく、何を実施するかも記載し適正化すること。また、「図面化・可視化」は改善の要点となるものでもないためあわせて適正化すること。	2026/4/1	「各施工ステップ～図面化・可視化」の記載を削除した。「目視するから…」に対し、「工事が計画どおり行われていることを直接確認する」に修正した。	P10
429	260330-4	今回回答	10	2026/3/30	「はらみ出し」については、はらみ出しに特化した記載にせず、全体工事を包絡するような基本方針として記載を適正化すること。	2026/4/1	個別の事象の記載ではなく、「過去の不具合事象」に修正した。	P10
430	260330-5	今回回答	10	2026/3/30	「計画どおり行われていたことを確認」については「計画通り行われていることを確認」などに適正化すること。	2026/4/1	「計画どおり行われていることを確認」に修正した。	P10
431	260330-6	今回回答	13, 28	2026/3/30	「はらみ出し」の記載を適正化すること。	2026/4/1	P10は、当該箇所の記載を「堅固な型枠」と個別の対応に修正した。P28は、「過去の不具合事象」に修正した。	P10, P28
432	260330-7	今回回答	13	2026/3/30	鉄筋の変形の欄にハンマーグラフの記載があるが、今後の施工でハンマーグラフを使用しないのは明確なので、記載の有無を含めて適正化すること。	2026/4/1	当該記載を削除した。	P13
433	260330-8	今回回答	14	2026/3/30	表中に青字で対策がかかれているところは、参照するページを記載すること。また、b, d.については後述の資料もこの順番で記載すること。	2026/4/1	表中の青字箇所に掲載頁を追記した。b.とd.の記載順序を見直した。	P14
434	260330-9	今回回答	20	2026/3/30	試験施工を実施した場所について、選定理由(代表性)について記載すること。	2026/4/1	計画範囲に近接した位置で試験施工を実施した旨を記載した。	P20
435	260330-10	今回回答	29	2026/3/30	⑦ 国交省など準拠した基準類を記載すること。	2026/4/1	「国土交通省、(国研)土木研究所」を追記した。	P29
436	260330-11	今回回答	29	2026/3/30	⑧「…について」が2回出てくるので、適正化すること。また、「シリカ含有量試験(ICP発光分光分析法)の準拠基準を明確化すること。	2026/4/1	・「について」の文章は記載を適正化した。 ・準拠基準については別途回答します。	P29
437	260330-12	今回回答	29	2026/3/30	⑨地盤改良の品質管理の方法の記載について、設工認と使用前事業者検査のどちらかであることを明確に記載すること(検査対象範囲の明確化)。	2026/4/1	使用前事業者検査に関する記載を適正化した。	P29
438	260330-13	今回回答	30	2026/3/30	地盤改良の目的の記載は、これまでの審査会合資料にあわせて「地震応答の低減」など記載を適正化すること。	2026/4/1	地盤改良の目的の記載を適正化(主目的を記載)した。	P30
439	260330-14	今回回答	33	2026/3/30	「人工地盤」が何を意味しているのか確認すること(人工地盤が原子炉施設に対してどのような意味を持つかを確認する)。	2026/4/1	(資料修正なし) 盛土や埋立地のような人工の地盤や改良地盤など自然でない地盤を指します。	—
440	260330-15	今回回答	35	2026/3/30	不確かさのリスクとして想定される事象の表について、「要」又は「否」にした一次評価の基準を明確化すること(例:地質調査データの具体的なエビデンスや試験施工の結果であることを記載する等)	2026/4/1	対策検討の要否のため確認結果を拡充した。	P35
441	260330-16	今回回答	37	2026/3/30	施工④欄の「否」を青字に適正化すること。また、情報①欄の地質データのエビデンスを具体的に記載すること。	2026/4/1	記載を見直し、確認の結果、「対策の検討が必要なものを【対策要】と識別できるように記載を見直した。	P37
442	260330-17	今回回答	38	2026/3/30	「要」の記載内容が「否」の記載内容とトーンが同レベルであるため、「要」の記載を充実化させること。	2026/4/1	対策内容について記載を拡充した。	P38
443	260330-18	今回回答	50	2026/3/30	総括の「赤字」記載については、次回に繋がるよう「今後、耐震・津波設計について説明する」などの記載に適正化すること。	2026/4/1	総括の記載を全体の説明内容に合わせ修正した。また、今後の説明内容について記載を改めた。	P50
444	260330-19	今回回答	50	2026/3/30	総括の4ボツ目の「施工性」の意味がわかるよう記載すること。	2026/4/1	「同様の不具合事象が生じないこと」に修正した。	P50
445	260330-20	今回回答	26	2026/3/30	「現場作業責任者」、「工事管理員」、「作業品質の向上」の意味を明確化すること。また、「施工エリアの負荷低減」という言葉を適正化すること。	2026/4/1	カメラ活用の効果について加筆修正した(施工エリアで働く要員が作業に集中でき、作業品質の向上に寄与する…他)。	P26
446	260330-21	別途回答	3-2	2026/3/30	「はらみ出し」、「可視化」について記載を適正化すること。	—	—	—
447	260330-22	別途回答	3-52	2026/3/30	②図において、鋼管杭から頂版鉄筋コンクリートに延びる鉄筋も記載を行うこと。	—	—	—
448	260330-23	別途回答	3-53	2026/3/30	⑤図の解説文で、アンカーボルトのナットを締めて上部工(鋼殻)と頂版鉄筋コンクリートを直接接合する旨を記載すること。	—	—	—
449	260330-24	別途回答	3-234	2026/3/30	「構造変更後」という記載は防潮堤基礎の構造変更であることがわかるよう適正化すること。	—	—	—
450	260330-25	別途回答	3-235	2026/3/30	「既施工構造物」を「既設構造物」に適正化すること。	—	—	—
451	260330-26	別途回答	3-235 3-236	2026/3/30	参照する図・表のページが違すぎてわからないものは再掲すること。	—	—	—
452	260330-27	別途回答	3-237	2026/3/30	表3.6-59耐震評価における検討ケースについては、既工認と今回で分けて比較できるように記載すること。	—	—	—
453	260330-28	別途回答	3-238	2026/3/30	表3.6-61, 62については、既工認モデルと今回モデルで分けて記載すること。	—	—	—

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表  
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(9/9)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
454	260330-29	別途回答	3-141	2026/3/30	「要」「否」の記載含め、想定される事象に対する一次評価表について、説明性向上のため記載を適正化すること。	-	-	
455	260401-1	今回回答	13	2026/4/1	アスタリスクの記載文で「②-②断面、③-③断面、⑤-⑤断面」は図に記載されないためこれを削除し、「既工認と同様、①-①断面、④-④断面、⑥-⑥断面で評価する」などと記載を適正化すること。	2026/4/3	既工認と同様、①-①断面、④-④断面、⑥-⑥断面を評価対象断面として選定する旨を記載した。	P13
456	260401-2	今回回答	16	2026/4/1	EW-2を評価断面とした理由について、地盤改良範囲のモデル化への反映を含め追記すること。	2026/4/3	表中に断面の北方向に地盤改良範囲(薬液注入)が拡大したことによる地盤状況の変化から改めて影響評価を実施する方針とした旨を記載した。	P16
457	260401-3	今回回答	33	2026/4/1	施設の記載「・」による設計条件の変更はない」は、設備側の記載とあわせること。	2026/4/3	設備での記載にあわせ、津波時においては追加地盤改良体による設計条件(津波荷重(津波波圧及び漂流物による衝突荷重)、地盤バネ等)を追記した。	P34
458	260401-4	今回回答	10	2026/4/1	「影響程度の確認」の意味がわかりずらいため、適正化すること。	2026/4/3	「影響程度の確認」を削除し、評価手順や手法の詳細な記載で置き換えた。	P10
459	260401-5	今回回答	11	2026/4/1	「既実施の地盤改良体があるが、これまでモデル化していないものを解析モデルに含める」等と記載するとわかりやすい。	2026/4/3	既工認で解析モデルに考慮していない既実施地盤改良体の影響も含め評価する旨を記載した。	P11
460	260401-6	今回回答	11, 17, 19	2026/4/1	フローの③のタイトル「解析評価条件」は、地震動と地盤のぼらつきの検討ケースを抽出するということがわかるようなタイトルに変更すること。	2026/4/3	「地震動・地盤ケースの選定」として記載を修正した。	P11, P17, P18
461	260401-7	今回回答	12	2026/4/1	杭の外側の地盤改良体の有無について確認すること。	2026/4/3	杭の外側の地盤改良体の表示を地盤改良体(薬液注入)に修正した。	P12-P16
462	260401-8	今回回答	12-32	2026/4/1	タイトル(2)影響評価 が連続するため内容を反映したタイトルに適正化すること。	2026/4/3	(2)影響評価 と共にそのページの説明内容がわかるタイトルを追記した。	P12-32
463	260401-9	今回回答	13-16	2026/4/1	平面図に地盤改良体(既設、新設)を表示すること。	2026/4/3	平面図に地盤改良体の凡例を追記した。	P13-P16
464	260401-10	今回回答	13-16	2026/4/1	マスキングはなるべく資料からなくすよう検討すること。	2026/4/3	マスキング範囲を必要最小限とした。	P13
465	260401-11	今回回答	17	2026/4/1	地盤のぼらつき、基本ケースという記載が初見の人からみるとわかりずらいと思われるため適正化すること。	2026/4/3	初見の人が理解しやすいよう、記載を全面的に修正した。	P17-P18
466	260401-12	今回回答	19	2026/4/1	「影響評価の最大照査値等の確認の要否判定」について適正化すること。	2026/4/3	「最大照査値等の確認の要否判定」に修正した。	P19
467	260401-13	今回回答	20-25	2026/4/1	照査値表の構造物毎に表示桁数が異なる理由について、注意書き等で記載すること。	2026/4/3	注意書きで、表示桁が既工認の耐震計算書における表示桁を踏襲している旨を記載した。	P20
468	260401-14	今回回答	21, 23	2026/4/1	設計震度の比率を採用した理由について記載すること。	2026/4/3	注意書きで、既工認での地震応答解析の手法に基づき採用している旨を記載した。	P21, P23
469	260401-15	今回回答	11	2026/4/1	フローの影響評価結果がNGとなり「追加検討」が発生した場合、影響評価断面の選定に戻ることについて適正化すること。また、追加検討がどういう内容なのかわかりやすく記載すること。断面が変更したり補強対策となると、影響評価の範疇ではなくなるため適正化すること。	2026/4/3	追加検討が発生する場合、今回の影響評価の範疇外となる場合も考慮しフローを修正するとともに、設計変更が必要になれば本影響評価の範疇外となる旨を記載した。	P11
470	260401-16	今回回答	20-25	2026/4/1	地盤改良で補強したにも関わらず、構造部材の照査値の比率が1.0を超える理由を記載すること。	2026/4/3	比率が1.0を超える理由を影響評価結果のまとめに記載した(震時加速度や変位様式等の変化等)。	P26
471	260401-17	今回回答	11	2026/4/1	影響評価を実施する目的を明確に記載すること。	2026/4/3	地盤改良体が追加されることで確認する内容を具体的に記載した(加速度・変位の変化による影響評価、地盤改良体と原地盤の剛性差が与える影響評価)。	P11, P26
472	260401-18	今回回答	33	2026/4/1	耐津波評価を不要と判断した理由をわかりやすく適正化すること。	2026/4/3	津波時と津波余震重畳時にわけて記載し、重畳時の余震荷重の算定に用いる一次元地盤応答解析では、周辺地盤が改良され「非液状化」の条件となり、既工認で実施している検討ケース⑤と同様の結果となる旨を記載した。	P34